

桂川嵐山で平成25年災害を振り返る企画展を開催

H30.9.18

～台風18号洪水を忘れない～

～淀川河川事務所・京都府・京都市～

桂川嵐山地区では、平成25年台風18号を契機に緊急治水対策を推進するとともに、国・府・市による「嵐山行政三者会議」が連携、協同して今後の治水対策のあり方を検討しています。

今年で平成25年災害発生から5年の節目となることから、水害の記憶の風化防止、事業の進捗状況の報告、事業効果の周知を目的に、企画展を開催しました。

また、嵐山地区で進めているソフト対策の一環として設置したまるごとまちごとハザードマップの除幕式のほか、嵐山地区の平成25年水害動画及び水文情報共有ツールにアクセスできるQRコードを地区内3箇所に設置し、そのお披露目を行いました。

概要

平成25年災害5周年企画展 ～台風18号洪水を忘れない～

○主催：嵐山行政三者会議（淀川河川事務所、京都府、京都市）

○場所：中之島公園内（天竜寺水位観測所前）

○日時：平成30年9月18日（火）13時00分～15時00分



企画展の様子



まるごとまちごとハザードマップ除幕式



淀川河川事務所長あいさつ
「地元のみなさまのご理解ご協力により、確実に浸水リスクを低減している。引き続き、府・市・国が緊密に連携しながら、景観に十分配慮し、事業を進めて参りたい。」



嵐山保勝会長ごあいさつ
「H25災害は大変な災害だった。6号井堰撤去などの治水対策を実施頂き、感謝申し上げたい。」



平成25年災害5周年企画展
台風18号洪水を忘れない ～嵐山の被害と5年間の歩み～

参加者記念撮影

（参加者の声）

- ・河川整備により、中之島地区や渡月橋下流については浸水頻度が大きく減ったのを実感。
- ・渡月橋上流は今年も溢れており、すみやかに対策をとりまとめ、早期対策をお願いしたい。
- ・洪水時には、情報共有ツールで情報収集して早めに避難し、川に近づかないようにしたい。



国土交通省



京都府



京都市

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局
淀川河川事務所 調査課
072-843-2861

